

NGOトーク
理事が聞く

ひとりでも多くの 子どもたちを救いたい

ハート・フォー・ザ・ワールド・ジャパン 事務局長 井野口 靖久さん &
(特活)名古屋NGOセンター 副理事長 伊藤 幸慶

フィリピンで教会と 連携して

伊藤 はじめまして。教会の中に事務所があるのですね。

井野口 プロテスタント系の「アガベチャーチ瑞浪」という教会の中にあり、私自身牧師をしています。ハート・フォー・ザ・ワールドというアフリカなどを支援しているアメリカの団体があるのですが、ハート・フォー・ザ・ワールド・ジャパンは日本の支部になります。会長は名古屋にある教会の牧師にお願いしており、私は事務局長です。

伊藤 支援される方はキリスト教の方が多いのでしょうか。

井野口 そうですね。東海地方の10カ所くらいの教会で寄付を集めて送金していただいています。定期的に支援していただける方は30~40人程度です。

伊藤 フィリピンで活動しているそうですね。

井野口 そうです。ミンダナオ島の北部にあるブトゥアンと、ルソン島にあるダグバンで子どもたちの支援をしています。

2001年から活動を始めて14年になりますね。活動を始めたころの子どもたちが大人になって、一生懸命働いて次の世代のために動き出している姿に励まされます。フィリピンの教会に協力させていただいて、賛同して下さる牧師さんとメールやskypeで情報交換しています。

伊藤 私は1997年頃ネグロス島に1年間滞在していました。あの頃とかなり変わったでしょうね。

井野口 マニラはかなり変わりましたね。高層ビルや大型ショッピングモールが次々とできて、豊かな層は増えているような印象があります。空港も新しくなりました。ジブニーというマニラならではの狭い小さな乗り合いバスがあったのですが、それも見かけなくなりました。一方で格差が広がってきており、貧しい方を多く見かけます。農村や漁村では以前と全く変わらない光景ですね。

給食支援と学費支援

井野口 まず、生きる糧、希望をより多くの家庭に届けることが必要と思い、「ホープセンタープロジェクト」と名付けて、最も栄養が必要とされる幼い子どもたちに、栄養バランスのとれた食事を提供しています。フィリピンではアフリカのように飢餓に瀕している子どもたちはいませんが、貧しい地域に住む子どもたちは、栄養のあるしっかりとした食事をとることができません。10カ所の拠点で約200人の子どもたちに食事の支援をしています。

伊藤 継続的な資金が必要になりますね。

井野口 一口1,000円/月の募金を呼びかけています。1,000円あると約20食分になります。子どもが10人もいる家庭もあるので、とても喜ばれています。

また、「ドリームリリースプロジェクト」という、貧困のため学校に行けない子ども

■主な活動場所



給食をほおぼる子どもたち



フィリピンの子どもたちの支援をしているハート・フォー・ザ・ワールド・ジャパン。名古屋からJR快速で50分ほどのところにある岐阜県瑞浪市内の事務所で、事務局長の井野口さんからお話を伺いました。

いのくち やすひさ
井野口 靖久さん

いとう ゆきよし
伊藤 幸慶



もたちに学費を支援しています。フィリピンでは、学年が上がるにつれて教科書代や制服代が払えず、途中退学する生徒が多いのです。そんな子どもたちが卒業までしっかりと教育を受けて彼らの夢が実現することをサポートしています。

伊藤 途上国では教育が重要と聞きますね。

井野口 学校を卒業するかどうかで、その人の一生が決まってしまう現実があります。貧しい海辺の集落では、十分な教育を受けられないと、1日5円の賃金しかもらえずにだいたい2kmの範囲で一生を過ごすことになるのですが、大学を卒業すると大都市で就職できて月収1万円になるそうです。

現在、中学生20人と大学生5人の子どもたちを支援しています。大学生は会計、看護、経営学などを学んでいますし、中学生も大学をめざしている子どもたちばかりです。過去に学費支援を受けた子どもが、現在食事支援のスタッフになっている例もあります。

伊藤 学費だけで十分でしょうか。

井野口 確かに、フィリピンではお父さんは働かずにお母さんだけが過酷な労働をしている家庭が多くあります。そういった家庭に学費を支援しても、その資金が子どものために使われるとは限りません。私たちは学費を支援しているご両親に月1回来ていただき、子どもの育て方や栄養の取り方などの講習を受けてもらうようにしています。

伊藤 名古屋NGOセンターの加盟団体でも学費支援をしている団体は多いのですが、そういった工夫は他の団体の方にも参考になると思います。

も募集しています。よく参加している看護師の女性は「フィリピンに行って元気をもらっている」と言っています。

伊藤 そうですね。現地の人と交流できるのは、観光旅行にはないスタディツアーの魅力です。

名古屋NGOセンターでは、6月にスタディツアー合同説明会を開催して、興味ある方が参加しやすくなる工夫をしています。他にもNGOセンターでは、NGOスタッフ向けに広報や資金獲得のスキルの研修などもしています。名古屋からは少し遠いのですが、こういったかかわりが増えるといいですね。今日はありがとうございました。

NGOセンターが できることは

井野口 子どもたちの笑顔がいいですね。何かしてあげているという気持ちに不思議とならないのです。「会いに行く」という感覚です。毎年3月にスタディツアーを行っているのですが、そのメンバー

取材が終わって教会の外でお話ししていたら、近所の子どもたちが挨拶をしてくれました。井野口さんは、地域の学童保育にも精力的に取り組まれているそうです。

(担当:丹羽)



学費支援を行っている中学校で

団体概要

ハート・フォー・ザ・ワールド・ジャパン

〒509-6125

岐阜県瑞浪市上野町3-3 アガベチャーチ瑞浪内

電話: 0572-68-4332 FAX: 0572-68-8715

ホームページ: <http://www.hftwj.com/>

heartfortheworldjapan/Welcome.html

Email: heart4theworldjapan@gmail.com

